

10 図書・学術情報に関する事項

図書館は、各学部、各研究科及び研究所等における教育・研究に必要な学術情報を広くかつ系統的に収集・整理および管理を行い、これらを学生及び教職員の利用に供し、本学の教育・研究活動を支援する中心的機関としての役割を担っている。

また、図書館は学生自らが幅広い教養を培い、豊かな人間性を涵養するための場でもある。

近年の図書館を取り巻く環境の変化は著しく、情報は、従来の紙媒体のみならず各種データベースを始めとする多様な電子媒体を通して発信されており、多様な情報収集活動の展開が求められている。

図書館では、この目的を果たすために各種の情報を収集するとともに、学内外に発信していく学術研究機関と認識し、図書館活動を展開している。

事業項目としては次のとおりである。

- ①近年の研究活動に不可欠な電子ジャーナルや学術用データベース等の積極的な導入、及び今後の充実策についての検討。
- ②深草図書館、大宮図書館が所蔵する未遑及資料の電子化の推進。
- ③図書館が所蔵する古典籍資料、貴重資料のデジタル・アーカイブ化の推進、及びその体制の確立。
- ④深草図書館における資料所蔵スペースの確保に関する具体策の検討。
- ⑤全学大型図書に関わる“整備形態”及び“選定基準”の見直し。
- ⑥昨年度(2007年度)から引き続き私立大学図書館協会の監事校として協会をサポートする。

1 図書・学術情報を活用した教育支援

本学が擁する7学部1短大1専門職大学院の専門分野を視野に入れた蔵書構成の充実をはかるとともに、学生の学習用図書及び基本図書を広く収集し、利用者のニーズにあった図書等の収集に努める。さらに、利用しやすい図書館を目指し次のとおり利用者教育の充実にも努める。

- ①各講義の学修を補助する参考文献の受入・排架。
- ②OPACによる蔵書検索方法を中心とした新入生対象図書館利用説明会の実施。
- ③各種学術用データベースの講習会、及び情報メディアセンターと連携した講習会の実施。
- ④図書館報『来・ぶらり』(発行：年2回)による利用者への情報提供。
- ⑤所蔵コレクションによる定期的な展覧の開催。
これらの図書館利用促進を教育支援の一環と位置づけ、一層の充実に努める。

2 図書・学術情報を活用した研究支援

各教員の独自の研究活動を支援するために図書を収集する一方、電子ジャーナルや学術用データベース等の電子資

料を積極的に導入していく(電子ジャーナル：8,910タイトル、学術用データベース：41種)。なお、限られた予算の中で“紙媒体”と“電子媒体”の資料をバランス良く導入していくため、これら電子ジャーナルや学術用データベース等の導入に関する方向性についても検討していく。

また、現在、古典籍デジタル・アーカイブ研究センター(AFC)が行っている大宮図書館所蔵資料(古典籍・貴重書など)のデジタル化に関する研究成果を引き継ぎ、2009年度以降の次世代ライブラリーシステムの構築を目指し積極的に推進するための体制作りを検討する。

3 図書・学術情報利用環境の整備

2008年度についても、ハード面、ソフト面において、利用環境の一層の整備に努める。具体的には、深草図書館では、閲覧室の机・椅子等の什器リプレイス(4年計画の3年目)を行う。

また、昨年度はデータの不十分さもあり実施できなかった深草図書館新館地下書庫の温・湿度維持等の環境整備及び既にカビが発生した書籍のクリーニング作業を実施する。

夏期休暇期間に深草図書館および瀬田図書館の入退館ゲートを新機種にリプレイスすることにより、利用者にとってよりスムーズな利用環境を整備するとともに各種データの収集・活用をはかる予定である。

その他、日曜開館については、昨年度に引き続き、深草、大宮、瀬田の3図書館で利用実態にあわせて実施する。

また、図書館ホームページのリニューアルを行い、オンラインによる学術情報の利用環境の向上、及び情報発信の促進を行う。

4 図書・学術資料の公開と施設の開放

①一般市民を対象とした図書館資料の公開

毎年春と秋の2回、大宮学舎本館展覧室において本学が所蔵する貴重書を中心としたコレクションの展覧を開催しており、大学関係者のみならず、多くの一般市民が訪れている。2008年度も、一定のテーマのもとで展覧を開催し、展示する資料を通して、図書館はもとより本学への理解を促進する。

②滋賀県下の高校生等への図書館開放

理工学部教授会からの滋賀県立工業高等学校との高大連携に伴う図書館利用の要請等を踏まえ、大学図書館の地域開放政策の一環として、従来のREC会員(本学卒業生と同条件)および一般の学外者(紹介状等による閲覧・複写)に加え、滋賀県下高校生および滋賀県下高大連携協定工業高校生及び教職員に対して、それぞれ条件を設定し本学構成員の利用環境を保障した上で、瀬田図書館を開放する。